

岩手県出身の阿部さんは

どうして青森中央短期大学を選んだの？

【Q.なぜ進学しようと思ったの？】

栄養士免許だけでなくフードサイエンティストやフードスペシャリスト、社会福祉主事任用資格、秘書士など様々な資格を取得することができ、将来の仕事の職域を広くもつことができることに魅力を感じ進学したいと思いました。

また、大学の敷地内に特別養護老人ホームが併設されているため、実習で実践的な学びができることも魅力のひとつだと思います。

【Q.気づいた青森県の魅力】

青森県は自然に囲まれていておいしい食べ物がたくさんある所が魅力だと思います。

重要無形民俗文化財指定されているねぶた祭りも青森県の魅力のひとつだと思います。私は今まで一度も生でねぶた祭りを見たことがなかったので実際に参加して青森県の伝統に触れることができ、とても貴重な体験をすることができました。

さまざまな授業で青森について学ぶ『学びの青森化』を通して、岩手との違いに気づくことができ、青森と岩手によりいっそう愛着が湧きました。

【Q.1年生を振り返ってみてどうでしたか？】

入学当初は友達ができるか、勉強についていけるかなど不安なことがたくさんありました。実習や実験、授業でのグループワークなどでいろんな人とコミュニケーションをとる機会が多くあったため、楽しく授業を受けながら学校生活を送ることができました！

【Q.一番の思い出は？】

1年生の夏季休業中にインターンシップで実際の現場で栄養士の仕事を体験したことが一番思い出に残っています。保育施設で働く栄養士は、給食の献立作成だけでなく、毎月の給食日よりや食育指導の媒体作成も行っていることが分かりました。

また、保育園に通う園児一人ひとりの情報を把握しておく必要があることを学びました。

【Q.将来の夢は？】

将来の夢は、大学で学んだ知識を正しく活用して対象者の特徴をよく理解し、対象者の将来の健康を考えることのできる栄養士になることです。また、栄養学にかかわる法律などはこれからどんどん変化していくと思うので栄養に関する勉強は将来もずっと続けていきたいと思っています。